

美高×モ
1

地域みらい留学

住んでいる都道府県の枠を超えて進学先の高校を選び、その地域で3年間学ぶ国内進学プログラム。主に都市部の中学生が全国各地の高校を「留学先」として選べる仕組みです。美高も令和4年から地域みらい留学で町外の高校生を受け入れており、現在8名の生徒が在籍中。今回の対談に参加した東さん（大阪府出身）と吉本さん（神奈川県出身）は地域みらい留学を利用し、入学しています。

美高×モ
2

アグリロテートのロゴ



町内で農業を営んでいる「さいこうファーム」と滝上町在住「casochi」とのコラボレーションにより完成したロゴ。「畑から地域の人をつなぐ、循環させる」をコンセプトに、高校生が手をつないでいることや、元気の良さをイメージできるよう青やオレンジなどの明るい色が取り入れられています。社名でもある「ロテート」は「循環させる」の意味。循環に重きを置き、継承しながら新たな挑戦へと踏み出す思いが込められています（美高公式 Note より）。

NEXT PAGE

クロストーク Vol.2

保護者 × 生徒が語る
「リアル」な学校生活

情報発信の難しさ

（東）SNSの運用って青年部でもすごく難しいですか？

（田村）青年部でも広報部を作っていて、担当の委員長がイベント実施の報告などを発信してくれています。SNSの活用は高校生のほうが詳しいんじゃない？

（東）どうやって町外とか道内外の人に知ってもらえるんだろうなって、今すごく考えています。

（田村）アグリロテートの情報は東さ

んがSNSで発信してる？

（東）主に僕が写真を撮って、文をつけて投稿しますが、もっとアグリロテートや美幌町そのものを知ってもらうという投稿を今後は増やしていったほうが良いかなと最近思っています。

（田村）活動報告だけだと、見る方も実際に投稿してる人、活動してる人が見えなくて、あんまり面白みがないのかもしれないですね。だから、単なる活動報告だけじゃなくて、もっと発信してる人のことがわかるような投稿を増やすと、見る方も興味を持つてもらえたりするのかもしれないね。

町の未来と2人が描く将来

（東）青年部会長、また社会人の先輩という視点で、今後の美幌町の未来のことを教えていただけますか？

（田村）大変なことが多いですが、やはり地域あつての仕事ですし、自分たちがいるからこそ地域だとも思うので、やれることをやって地域に貢献をしていくのが大事だと思います。高校を卒業して美幌町を離れる人も多数いると思いますが、美幌町にいた記憶が良いものであってほしいですし、何かのきっかけで美幌に戻りたいと思う時に、そういう人たちを受け入れる環境、それは仕事はもちろん生活

や教育・医療が整っている環境、そういう環境を維持できるように頑張っていきたいと思っています。

（田村）アグリロテートの今後、未来の展望はどうですか？

（東）アグリロテートの存在を知っている人がまだ限られているので、まずは色々な人に知っていただいて、美幌高校と言えばアグリロテート、さらには美幌町といえばアグリロテート、そういうくらい大きな組織にして、色々な人に認知してもらえようかな、誰にでも愛されて、社員一人ひとりが輝ける、そういう会社になっていったらいいなと思っています。



合同会社アグリロテート社長 × 美幌商工会議所青年部会長

合同会社アグリロテート社長

東 拓生（美幌高校3年）

美幌商工会議所青年部会長

田村 英樹（㈱道和建設）

アグリロテート設立の経緯と社長になったきっかけ

（田村）アグリロテートの社長をやっているなんて、本当にすごいですね。会社ができたと経緯と、東さんが社長になったきっかけを教えてください。

（東）全国高校生農業アクション大賞という農業高校のコンテストがあったので、そこで美幌高校が奨励賞を受賞し、20万円の賞金をいただきました。その賞金をもとに、地域の活性化や町の農業をもっと良いものにしていくというこのことを軸に、令和元年に会社

を設立しました。社長になったのは先代の社長から、「東くん、次の社長ね」という一言で決まりました。

（田村）社長を2年やってみて、楽しかったことや大変だったことはありますか？

（東）アグリロテートって本当に何でもできる場所なので、社長を引き継いで最初に困ったのが「何しよう？」っていうことでした。その中で、大きな事業として行ったのがロゴの作成です。社員みんなで案を出し合って、一番良いのを選び、滝上町在住のデザイナーの方をお願いして形に残せた。大変でしたが、ロゴとして形に残せたのが個人的にはすごく嬉しくて。

アグリロテートの力に

（田村）アグリロテートではどういう商品を作ってる？

（東）今は、学校で有名なバウンドケーキとジャムを中心に販売会で販売しています。

（田村）高校で作ったものをアグリロテートで買い取って販売して、利益を上げてるということですね。

（東）アグリロテート単体としての商品がないので、「アグリロテートといえばこれ」という目玉商品を自分が卒業する前に作れたらいいなと考えています。

（田村）自分は建設業ですけど、商工会議所青年部には色々な職種の方がいるので、例えば何か商品を作りたいとか経営のことで困ったことがあれば、青年部の中で紹介してアドバイスもできるし、飲食店と協力して、店舗で美幌高校発の商品を出すとか、お菓子屋さんで美幌高校が作った材料を使ってもらい、お菓子を一緒に作って販売するとか、そういったこともできると思います。青年部主催で実施しているイベントに出店して商品販売ができたら今後おもしろいかもしいないね。美幌高校の生徒が「こういうことやりたい」と言ったら喜んで協力してくれると思うので、いつでも相談してほしいと思います。

（東）ぜひ紹介してほしいです。アグリロテートのことを販売会とかで時折目にすることはあるかもしれないんですが、やっぱり常に目に触れる場所に、アグリロテートの存在があることが大事なので、そういう活動ができたらずごくいいなと思います。